

同朋 和敬

同朋和敬
4
学校通信

Doho High School Community Press
Vol.225 26 APR 2022

同朋高等学校 学校通信編集委員会 犀川・小堀

名古屋市千川区稲葉地町7の1 TEL 052-471-1159



※撮影の為、マスクを外している写真もあります。

2 021年度の卒業式にも、在校生は参加しなかった。それでも、卒業生の胸には在校生手作りのバラが飾られ、構成詩内の在校生の朗読だけでなく、動画により在校生の皆さんのメッセージが卒業生に伝えられた。卒業生一人ひとりの言葉を丁寧に聞き取り、それらを紡いで作り上げられた合唱構成詩『歩み』は、体育館に設置された『成長ロード』とも相まって、卒業生の成長が大いに顕れたものとなった。合唱を全員で歌うことはできなかったが、手話によって気持ちが伝えられた。この4月から始まる新しい出会い。それぞれの一步を踏み出そう。

同朋高等学校長 滝 敏行

卒業生への メッセージ



- 101 ひとりじゃないって最強だ
- 102 牽攀乖隔
- 103 人生の8割は気合だ 残りの2割は笑ってごまかせ
- 104 躍べ
- 105 新たな一步へ
- 106 一期一会
- 107 Never give up
- 108 千里の道も一歩から
- 109 最高な君たちに晴れ
- 110 Let it be
- 111 未来に向かってはばたけ
- 112 宝物の日々
- 113 トライする一年に
- 114 Brillante
- 201 未来へ羽ばたけ
- 202 顔晴れ
- 203 Believe
- 204 強くあれ!
- 205 夢
- 206 なんだろう... 世界を変えてもらっていいですか?
- 207 大吉
- 208 Life is Beautiful
- 209 感謝
- 210 See you again
- 211 飛翔
- 212 プルスウルトラ
- 213 輝く未来へ
- 214 動けば風が吹く
- 215 大好き

- 柔道部 勝ち取る
- 野球部 我行精進 忍終不悔
- 陸上部 仲間
- サッカー部 自分を信じろ
- 男子ソフト部 顔晴る
- 女子ソフト部 墨球魂
- ハンドボール部 駆(かける)
- 男子テニス部 威風堂々
- 男子バスケ部 同朋和敬
- 女子バスケ部 前提万里
- 男子バレー部 頑バレー
- 女子バレー部 ありがとう
あきらめない心 りんとした瞳
がんばっているのをみんなしてる
とても辛い時も うしろにはみんながついているよ
- バドミントン部 一步踏み出す
- バトン部 センパイしか勝たん
- 卓球部 打ち抜け
- ラグビー部 辛い日々一つのトライで幸せ満開
- ダンス部 D-dropしか勝たん
- 女子蹴球部 共闘
- 乗馬部 馬のように自分の道を駆け抜ける!
- 釣り同好会 みんなで釣ると楽しいね
- 吹奏楽部 音楽とともに
- 情報処理部 君が為 桜咲く
- 演劇部 人生の主演はあなたです
- 美術部 一路平安
- 写真部 夢を撮る
- 茶道部 和敬静寂
- 書道部 勇往邁進
- 漫画研究部 さらに向こうへ
- 料理研究部 未来に向かってCOOKING
- フォークソング部 No Music No Life
- 同窓会 Get your future
迷ったらここに帰ってこい
- 父母懇 心
- 高フェス making future
- 保護者 たくさんの経験で人生に彩りをふみ
- 教職員 『これがいい』を選べる人生を!

Schedule [行事予定]

4月	6日 水	入学式
	7日 木	始業式
	8日 金	全学年実力テスト、3年進路ガイダンス
	11日 月	EP(英)説明会、2年MP説明会
	12日 火	EP(美)説明会、1年MP説明会
	15日 金	クラブ総会
	21日 木	1・2年校外学習、3年上山研修

4月	22日 金	家庭学習日
	30日 土	PTA常任委員会
	6日 金	3年医療・看護系ガイダンス
		PTA総会、地域婚地区別会議
5月	14日 土	3年保護者進路ガイダンス
		学級懇談会、美術系ガイダンス
	16日 月	中間考査(～19日)
		音楽科実技三者懇(～19日)
	26日 木	体育大会

5月	27日 金	ウエサカ祭
	4日 土	PTA常任委員会
	13日 月	創立記念日
6月	14日 火	就職希望者三者懇(～17日)
	25日 土	地域懇談会①
	26日 日	地域懇談会②
	27日 月	期末考査(～7/1) ※音楽科のみ(～30日)

卒業式

今年度の卒業式も、コロナ禍の中で在校生全員の参加ができない中で行われました。それでも、在校生・卒業生・教職員それぞれの実行委員が知恵を絞って、手作りの卒業式を創り上げました。



2021年度卒業式 第二部 合唱構成詩 2月19日

入学式

- 「あ!校舎の窓に名前が貼ってある!」「あ!先生たちの自己紹介もある!」「これが同朋かあ。」
- 「小学校や中学校は、ずっとみんなと一緒にだった。だから、友達もできて話せてたけど、高校からは、みんなバラバラで知らない人ばかり。どうやって話したらいいんだろう。」
- 「ねえ、名前なんて言うの?」「そのとき声をかけてくれた君。すごく嬉しかったし、私も同じ様に声をかけてみようって勇気もらった。」「学校が変わったことで、新しいことばかりが増えた。私(僕)らしく生活できるか不安だった。でも、新しく会おう人や、この先にある行事などへの期待で胸がいっぱいだった。」

フレッシュマン合宿

- 「フレッシュマン合宿。初めてみんなとお泊り。試験合格目指して頑張ろう!」
- 「問題全然わかんない!人見知りだった私は、誰かに教えてもらうこともできなくて、一人で焦っていた。」
- 「ね!席近いしみんなで勉強しようよ!」「賛成!一緒にやれば敵なしだよ!」「近くで聞こえた声。勇気を出して混ざったら、快く受け入れてくれた。自分から動けば、優しく応えてくれる子がいることを知った。」
- 「愛情部屋行きになっちゃった。」「みんな寝てるよなあって思いながら、部屋に戻るとびっくり!みんな起きてて、僕のことを待っていて。」「みんなから「お疲れさま」と言って貰ったときは、最後まであきらめずに頑張ってた良かったなと心から思えた。」
- 「ひとつの部屋に全員集合!」「何する?」「まずは自己紹介から始める?」「ちゃん付けよりも、あだ名で呼び合おうよ!」「いいねー!」
- 「入学してすぐの行事。クラスの子となかよくなるきっかけになった。テストの時にこんな風に勉強できたらいいな。これからの学校生活が楽しみ!」

新歓フェス

- 「新入生歓迎フェス。初めてクラス一丸となって協力した。」
- 「看板どうしよう。」「文字だけだと味気ないよね。」「私(僕)がイラスト描こうか?」「うま!才能じゃん!」「みんなで作ることで、クラスの子の得意分野を知ることができた。」

- 「周りの子はそれぞれの得意分野を生かして動いている。私は何もできなくてただ立っていることしかできなかった。」「まだポテト売れ残ってるじゃん!」「じゃあ私たちが売り子やってくるよ!」「そうって、ちょっと強引だったけど連れ出してくれた君。売り子なんて初めての経験だったけど君と一緒にだったから楽しくやれたよ!」
- 「クラスの子のいろいろな顔を知ることができた。みんなでひとつのことに取り組むことの楽しさを知った一日になった。」

(時計の針がとまって…)

- 「あつという間の一年。このまま残りの二年も順調に進むと誰もがそう思っていた。でも、未知のウイルスによって私(僕)たちの生活は一変した。」

コロナ

- 「え、コロナで学校休み!?」「せっかく勉強したのに。」「学年末試験無くなったー!ラッキー。」
- 「なんで土特だけあるの!?辛すぎる。」「3学期の成績どうなるの?」「進級できる!よかったー。」
- 「唐突になくなった3学期。2年生になってからは分散登校に、毎日の検温。マスクをつける生活も3ヵ月で慣れてしまった。」
- 「初めてのクラスなのに分散登校になってしまって、うまくなじめなかった。マスク生活になってから、相手の表情を読みにくくなった。コロナ前は楽しみだった友達との寄り道も、難しくなった。お昼の黙食の時間。静かなことがこんなにも寂しいものだったのかと痛感した。部活での制限が増えて、やれること・やりたいことができなくなってしまった。」
- 「コロナと共に過ごした2年生。いよいよ修学旅行。」「私(僕)たち行けないから、楽しんでね!」「絶対お土産買って来るからね!」「うん!行ってらっしゃい!」「コロナの波が迫る中、本当に行けるのか不安だった。けど、無事に行くことができてホッとした。」

修学旅行

- 「僕たちは、沖縄で戦争が生み出した大きな爪痕を目の当たりにした。私たちが、映画『月桃の花』と同じ轟ガマに行った。中は想像よりも狭く、人との間隔も近かった。空気もどんよりとしていた。ここで閉じこも

- たままの生活を想像すると、私たちでは分からないほどの苦痛があったのではないかと思った。この場所で千人以上の人が生きていたと思うと、息が苦しくなった。懐中電灯を消すと、すぐ目の前にいる友達すら見えなかった。暗い中で、遠くから聞こえる爆弾の音。見つかるかもしれない恐怖。様々なものに押しつぶされてしまいうさだった。」
- 「僕たちは米軍基地に行った。敷地内は格納庫や滑走路がほとんどで、軍機庫の扉から本物の戦闘機を見ることができた。予想よりもかなり大きかった。これが沖縄の空を飛んでいるのを見たら、僕たちが普段見ている空とは別物のように感じた。戦闘機の音は耳をふさぎたくなる程大きかった。この音の中で生活することは、僕には耐えられないと思った。さらに、墜落することもある。いつ落ちてくるかもわからない大きな物体に恐怖を感じた。」
- 「沖縄の人たちは自分たちと同じように暮らしているはずなのに、基地が近くにあることで、危険と隣り合わせな生活に一変してしまうことを体感した。沖縄に来て、実際に戦争に巻き込まれた場所に行ったことで、私たちが生まれる前に生きた人が感じた苦しさや恐怖を知った。今も続く基地問題。あの時の爪痕が今も沖縄の人を苦しめていると思うと、自分たちがどれだけのほほんと暮らしているのかを思い知った。それでも生き抜く沖縄の方々を見て、一分一秒を大切に生きていこうと思った。」
- 「コロナのおかげで、できたこともあった。」「初の試みタクシー研修!」「思ったよりタクシーの中広かった!」「運転手さんが、道中に見える建物や基地の説明を丁寧にしてくれた。」「運転手さんがくれたサーターアングギー。愛が込められていて、美味しかった。」
- 「GOTOクーポンも使えたよね!」「全部使い切るのが必死だった。」「名古屋にある店にも行ったなあ。」「普段高くて買えないのも買っちゃった。」
- 「修学旅行といえば、伊江島でしょ!」「知らない人の家に泊るなんて緊張したよ。」「そんな私たちを、おじいとおばあは優しく包み込んでくれた。」「おじいとおばあはのソーキそば、美味しかった〜」
- 「タッチューに登るのが大変だった。」「すいすい登っていくおじいにおばあ。」「まだまだ元気!ずっと元気のままでいてほしいな。」
- 「素敵な一日を過ごして皆合流。」「俺たちのおばあが一番かっこいいから!」「私たちのおじいだって可愛いよ!」「みんなで張り合ってる姿に、おじいとおばあとの掛け替えのない思い出があったことを感じた。」「おじいとおばあは私たちの家族。元気にしてるかな?」

(伊江島からのビデオメッセージ)

- 「おそらく一生に一度しか行けないオーストリア。今年はコロナで長崎と東京に変更。」「えー!行きたかった!」「でも先生が私たちのために一生懸命考えて計画してくれたから今は感謝してます。」
- 「ハウステンボスのイルミネーションはすごく綺麗だった。最後にこのクラスであの景色が見れて良かったな。」
- 「長崎原爆資料館で、原爆がちょうど落ちた場所を見た。この場所であ

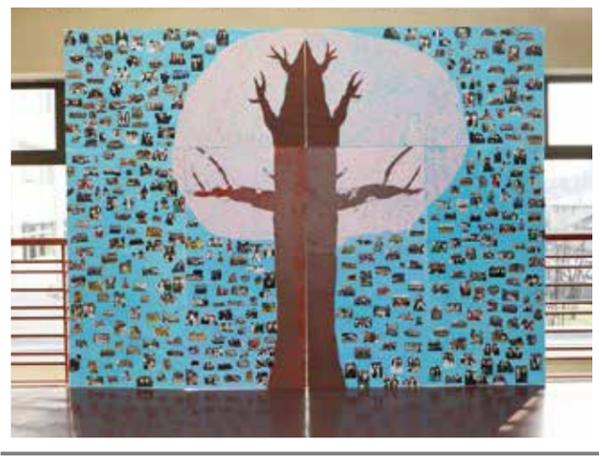


- くさんの人が一瞬にして亡くなったと思うとどんな顔をしていいのかわからなかった。体内から焼かれた中で水を求めて亡くなった被爆者の方々に、水を捧げて冥福を祈るために作られた平和の泉。そこには被爆した少女の言葉があった。被爆した当時の情景が想像できて、被爆した方々のために今はとにかく祈ろうと思った。戦争があった事実を消すことはできない。でも、私たち若者が戦争は恐ろしいものだとは知ること、未来につなげることができる。学べる機会があって良かった。」
- 「蝶々夫人というオペラは圧巻だった。ホールに響く鋭い歌声。初めて聴くオペラに心を震わされた。」
- 「例年通りではなかった今年。ヨーロッパに行けなかったことは悔しかったけど、自分の中で大きな変化を感じた4日間だった。12組の仲間と先生との出会いは、自分の中で一番の宝物です。」

3年生

- 「いよいよ最高学年か〜!最後の年沢山思い出作るぞ〜!」「体育大会の練習。やること多くて大変!」「放課後の練習で、1・2年生がたくさん来てくれてびっくり!」「緊張しないでいいよ!テンション上げてこー!」「右はこうで、左はこの形。」「一人では何もできない。みんなが協力し合ってひとつになろうとしてる瞬間に感動した!」
- 「今年も延期!?」「また文化祭と同じシーズン!?忙しくなりそう!」「文化祭では毎年3年生が各クラス個性溢れた演劇やパフォーマンスを見せてくれる。」
- 「今年自分たちの番か〜人前に立つの苦手なんだよね。」「大丈夫だよ!裏方に沢山の役割があって、表に立つ人と同じくらい活躍できるよ!それぞれが得意分野をやればいいの!」「君がそう言ってくれたから自分にできることを一生懸命やろうって思えたよ。」
- 「私この役やりたい!」「私も!」「じゃあオーディションやろう!」「決まってくい配役。みんなのやりたいという思いをひしひしと感じた。」
- 「初めてのキャスト練習。家で練習したいから撮った動画を送ってほしいと言ってくれる子もいて、最高の物を作れるように頑張ろうとさらに気合が入った。」「隣のクラスもう大道具できてるの!?!」「え!私たちも負けないうくらい頑張らなきゃ!」
- 「文化祭ですが…体育大会も中止とします。」
- 「え?延期じゃなくて中止??」「台本も作って練習始めてたのにー??」「ダンス練習も意味なかったじゃん!」「俺らの青春どこだよー!」
- 「作った大道具どうしよう。」「作っただけで終わって辛すぎ!」「最後の文化祭と体育大会、やりたかったな…」





- 群団長「やれないままで終われるかー!」
群団長B「3年生、いくぞー!」「おー!」

〈群団長たちによるパフォーマンス〉

〈在校生構成詩・在校生合唱〉

- 「音楽科の大切な行事、オーケストラ演奏会と定期演奏会!」「音楽科3学年全員で作上げる舞台。キラキラ光るステージは素晴らしかった。私も先輩みたいになれるかなあ。」

〈音楽科卒業生 ミュージカル 演技〉

- 「最後の舞台。盛大な拍手に包まれる会場。この舞台に立てて良かった…!たくさんの人を笑顔にしたい。客席の君にも伝わっていたらいいな。」

- 「高校最後の行事は卒業式を残すだけ。」「思い出がないままで終われるか!」「失われた時間を取り戻すぞ!」

- 「文化祭を復活させたい思いからできた有志の団体。部長の子も話し合いに参加して、野外ステージを復活させるために半年間話し合いを重ねた。少しでも野外ステージをやることできるなら、自分も協力したい。そう思って、この団体に参加した。企画することの難しさを目の当たりにした。」

- 「それでも、少しずつ形になっていく度にワクワクした!中止になったことを悲しむんじゃなくて、自分たちで新しいことを考える楽しさを知った。」

- 「クラスや学年の思い出を作ろうと始まった自主活動日。クラスでできたことなんもないじゃん!何か思い出作ろうよ!1個でも多く記憶に残ることしようよ!」

- 「そう言ってくれた君がいたから、皆の熱意が高まった。綱引きや大縄で声を掛け合うごとに増えていく3年生皆のとびきりスマイル!行事が全部潰れた分、初めてクラス全員で一つのことへ一生懸命になった瞬間だった。」

- 「人前に出ることが苦手な私は、家で何度もイメージトレーニングをした。本番でうまく指示出しができた。学年全員が動くときに、皆の指示を聞く姿勢を見て、安心して進めることができた。みんなが楽しそうに取り組む姿を見て、この企画をやった本当に良かった。思い出として深く刻まれた一日になった。」

- 「できないから動かないんじゃない。できないからこそやりたい気持ちのままに動くことが大切なんだとわかった。」

成長

- 「私たちは、この3年間でさまざまなことがありました。その中でそれぞれ

大きく変化しました。」

- 「文系に入って、自分で内容を選べる科目演習が追加された。自分たちの興味のある内容だから、授業に対してどんどん意欲がわいてきた。」

- 「理系は、内容がさらに難しくなって、高得点が出にくくなった。テスト期間は数学や化学に追われていた。みんなで焦りながら勉強しているとやる気が出てきた。」

- 「私は、デッサンや製作に苦戦した。頭では想像できても、実際に相手に伝わらず悩むことが多かった。先生のアドバイスのおかげで、足りないところに気付くことができた。自分の世界が広がった。」

- 「商業科は検定に試験に大慌てだった。勉強の得意な子のところ集まって、分からないところをとにかく教えてもらっていた。僕は今まで勉強が苦手だった。でも、簿記や情報処理といった授業を通して、新しい刺激を味わうことができた。」

- 「音楽科は、年に2回の公開実技にむけて毎日練習した。本番で練習通りにできなくて、悔しい思いをした。でも、舞台上で演奏することは楽しかった。演奏を通して皆と繋がることができた。」

- 「生徒会に入って、沢山のひとと話す機会が増えた。学年や学科の違う人とも話ができ、人と話すことにポジティブになれた。」

- 「クラ連を通して、企画することの楽しさを知った。自分の案を聞いて、意見を出してくれたり、皆から『いいじゃん!』と言ってもらえた時はすごく嬉しかった。」

- 「高校生フェスティバル。初めは目的がわからず戸惑っていた。困っている人に笑顔や希望を届けたいという思いを知った。できる自信がなくて、思い悩んだ。でも、やってみたら楽しくて、人前で自分の意見を言えるようになった。沢山の人の笑顔を見るのがあった。その時この活動をやれたことに誇りを感じた。」

- 「先輩からキャプテンを任された。私は昔から熱中すると、自己中心的になることが多かったから、不安だった。」

- 「最初は、何をすればいいのかわからなかった。でも、経験を重ねて無意識でも周りに声掛けができるようになった。」

- 「私は、人に頼ることができなかった。でも、このままではだめだと思って3年生の仲間に相談した。」

- 「その時仲間が受け入れてくれたから、心に余裕ができた。周りに頼ることの大切さを知った。」

後輩へ

- 「個性が強いみんな。部活では、教えることも逆に教わることもあった。一緒にサッカーで戦ってくれたり、勝って喜んだり、負けて悲しんだり、同じ気持ちを分かち合うことができた。」

- 「頼りない先輩なのに、毎日先輩!って声をかけてくれた。『トレーニング方法教えてください!』とか『これどうやればいいですか?』とかすぐに聞いてくれた。」

- 184「部活動体験で話した君。部活動登録の日に、『先輩と話した時に

同朋に決めました!』と言ってくれた。毎日見る笑顔がとにかくかわいかった!大好きだよ!」

- 「楽しみにしていたことがなくなる。そんな日々の中で学校生活を送るのは不安で、苦しいと思う。そんな時こそみんなにもあきらめずに頑張ってもらいたい。」

- 「今、私たちがやりたかった卒業式をできているように、コロナ禍でもできることはある。だから、負けずにいろいろなことに挑戦してってね!」

先生へ

- 「クラ連や有志など何度かもう辞めたいと思って相談した時、優しく私の考えを聞いて、何があっても私の意見を否定することはありませんでした。3年生初めての面談の時、自分にとってハードルの高い学校を先生に伝えるのが怖かったです。でも先生は応援してくれて、面接練習などを夜遅くまで何度も手伝ってくれました。」

- 「僕の性格を理解してくれて、ほんの小さなことにも親身になって相談に乗ってくれました。先生に話せて心が軽くなりました。今まで僕たちのことを支えてくれてありがとうございました。」

友人へ

- 「何をやっても上手くいかず、そんな自分の情けなさに落ち込んでいた時、勇気をだしてあなたに打ち明けてみた。」「同じ体験をしていないから全部を理解することはできないけど、話はいくらでも聞くよ。苦しんだ分だけ一緒に楽しいこと沢山しようよ!」「そう言ってくれたから、学校に行くのが辛い時もあったけど、3年間毎日学校に通い続けることができたんだよ。」

- 「照れ臭くていつもは言えないけど、いろんな話をして過ごした日々がとても楽しかった。友達でいてくれて本当に良かった。あなたといると、小さなことも幸せを感じる。何時も幸せをありがとう。」

家族へ

- 「毎日朝早くからお弁当作り、駅までの送迎、どんなに忙しくても笑顔で声をかけてくれる、辛いときは真剣に話を聞いてくれたお母さん。八つ当たりすることが多かったけど、私のことを機にかけてくれて何気ない優しさをくれたお父さん。そんな二人を見ながら文句も言わず陰ながら私を支えてくれたお兄ちゃん。」

- 「小学校の卒業を機にお母さんと暮らし始めた私。やっと自分の居場所を見つけた気持ちになれた。ずっと普通じゃないことに悩んでいた時に『普通じゃないって楽しいし、面白いじゃん。』って言ってくれた。その言葉に私は救われて、今、ここに生きています。私の自慢であり、世界一のお母さんです。いつもありがとう。大好きだよ。」



- 「今年は、全員でひとつの物を作る機会が少なかった。だから、卒業式で何か全員でできることをやりたい。そんな思いから合唱をすることにした。曲はflumpoolの証。18年間で積み重ねてきたものを証にして、これから歩いていくという決意を込めて。当日歌うことは叶わなかった。でも、試行錯誤して全員でできることをたくさん考えた。短い時間の中でも全員で作る証。今までの過去を思い出しながら、進んでいく僕たちを見届けてください。」

〈手話による合唱披露〉

- 「私たちは、たくさんの人に支えられました。この3年間はかけがえのないものです。この思い出を胸に歩いていきます。」

学校長 式辞

中庭の河津桜が少しずつ開いてきました。寒い日が続きますが、それでも少しずつ春の気配が訪れています。今日この良き日、PTA役員の皆様、保護者の皆様のご臨席のもと卒業式を挙行できますことは、本校にとりまして大変大きな喜びです。厚く御礼申し上げます。

保護者の皆様におかれましては、今日のお子様の成長された姿に感慨も一入のことと存じます。私には二人息子がおりまして、そのうちの一人が皆さんと同じ高校3年生です。保護者の皆さんには、一緒に子育てをしてきた仲間という意識を勝手に持っていました。ご卒業をお慶び申し上げますとともに、これまで本校にいただきました温かいご支援ご協力に、あらためて深く感謝申し上げます。ありがとうございます。

ただいま卒業証書を授与した卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。教職員一同心より祝福いたします。

皆さんの脳裏には、どのような思い出がよみがえっているのでしょうか。やる気に満ち溢れた1年目、さあこれからどんな2年目を送っていこうか、としていた時に、突然コロナがやってきました。2年生の1学期は休校からのスタート。手元には、予定がごとごとく変わって真っ黒になったスケジュール帳が残っています。皆さんは、感染拡大のはざままで修学旅行に行くことができたが、皆さんの学年では、6割の学校が修学旅行に行けなかったと聞いています。3年生の2学期は分散登校でスタート、同朋高校に長年勤めています、文化祭が中止になったのは初めてのことでした。

辛いこと、悔しいことは多かったと思います。ですが、いろいろな制約の中でも、それぞれの目標に向かって精いっぱい頑張ってきました。皆さんは大きな困難を乗り越え、今日の日を迎えました。それらの経験は確実に皆さんの成長につながっています。

始業式でも紹介しましたが、桜が咲くには冬の寒さが必要です。厳しい寒さにさらされることで花芽が目覚まし、活動を再開します。これを「休眠打破」と言うそうです。さまざまな困難は、皆さんの「休眠打破」になっていたのではないのでしょうか。

世界はさまざまスピードで変化しています。皆さんが活躍することになるであろう社会は、必ずしも生きやすい世界ではないかもしれませんが、一つひとつの問題がきわめて複雑で、容易に解決法が見つからない、そんな時代を生きるようになることが予想されます。

一昔前、人生は電車で例えられました。ある程度決められたレールがあり、その上を進んでいけば成功が待っていました。その電車は自動車に変わってきました。いろいろな道があるのを自分で選択しながら進んでいくことになります。自由

度は広がりますが、その分、道に迷ったり遠回りするリスクも増えます。これからの社会は、ブルドーザーなのだといいます。道がないところに、自分で道を作りながら歩いていくことが求められるということです。答えがない、そもそも先例すらない問題の答えを、作りながら進んでいかなければいけません。

ですが、「これでいい」ではなく「これがいい」と、自分で選択できることを目指して取り組んできたこの学年の皆さんなら、きっと自分で切り開いていくことができますでしょう。

これからは、「これがいい」と言えることだけでなく、ほかの人の「これがいい」と自分の「これがいい」がぶつかったときに、どのように調整していくか、「これがいい」をどのように実現していくのが、大切になっていきます。

個人的なことで恐縮ですが、先ほど高3の息子がいるといいました。3年生が用意した「成長ロード」見ながら私もいろいろ思い出しました。これまで彼の成長の過程を見てきましたが、一番印象に残っているのは彼が初めて立った時のことです。おもちゃのジャングルジムにつかまりながら立ち上がり、一瞬きょんとした表情をした後、嬉しそうに足をびよんびよんさせました。立ち上がって急に世界の見え方が変わって驚いたのと、それが嬉しかったのかな、と想像しています。

見えなかったものが見えるようになること、新しいことを知ることは、大いなる喜びです。これからの人生も新しく知ること、学ぶことであふれています。これからも、皆さん一人ひとりの「これがいい」を見つけていってください。

卒業生の皆さん一人ひとりが、それぞれの世界に向けて力強く旅立ち、その前途が洋々たることを心から念じ、式辞といたします。

同朋高等学校長 滝 敏行



ください。繰り返しますが、いつでも世界中に自分と同世代の若者がいること、そして、皆が(昨日の自分)と日々競争をしていることを忘れないでください。そして、その競争を共に頑張っていく仲間として今皆さんの隣に座っている友達がいま。応援し共に喜んでくれるサポーターとして先生方や先輩方、そして我々保護者がいるのです。日々、努力され、一步一步着実に成長されることをお祈りしております。

保護者の皆様には、お子さまのご卒業にお祝い申し上げますと共に、3年間にわたって同朋高等学校の教育活動にご協力いただきましたことに、心より御礼の言葉を申し上げます。最後になりましたが、新しいステージの扉を開き、勇気をもって踏み出していく卒業生の皆さんの未来に幸多かれと願ひ、私からのお祝いの言葉とさせていただきます。

令和4年2月19日
同朋高等学校PTA会長 二村 浩介



来賓 祝辞

寒い日々が続きつつも、学問の成就を告げ知らせるとされる梅の木の開花が進む本日、3年前に入學した皆さんが卒業の日を迎えることができました。

卒業生の皆さん 本日はご卒業、誠におめでとうございます。

子どもたちが今日の良き日を迎えるにあたり、校長先生はじめ、最後まで熱心にご指導いただきました同朋高校の先生方にまず御礼申し上げます。

誠にありがとうございました。

さて、本日卒業される3年生の皆さんに、保護者を代表いたしまして、一言、饒の言葉を述べさせていただきます。

皆さんは、この同朋高校を離れ、さらに深く勉強を進める道へ、あるいは、専門的な技術を身に付ける道へ、あるいは、実社会へ出る道へと進みます。時期に多少のずれはあっても、世界中で皆さんと同じ世代の若者たちが、親や社会の保護を離れて、これからの未来を支えるべく、大人への道を歩み始めます。どうか皆さんは、思想や背景は違っても、皆さんと同じ若者たちが世界中にいて、未来を切り拓くべく日々、必死に努力を積み重ねていることに思いを馳せてください。

そして、彼らに負けずに、彼らに恥じることがないように、さらに日々努力を重ねてください。

しかし、忘れないでいただきたいのは、その競争は、結局は、いつでも自分自身との競争であるということです。皆さんは、昨日の自分、一昨日の自分、一年前の自分と比べて、何か新しいことを知りましたでしょうか?何か新しいことができるようになったでしょうか?人に対してより優しく、より頼りにされる人間となったのでしょうか?いつも、(今日の自分)を(昨日の自分)と比べてみてください。そして、少しでも進歩があったのなら、明日もまた一歩進めるように頑張ってください。しかし、もし昨日の自分と比べて、前進できなかった、あるいは、後退したと感ずるならば、そのときはしっかりとそれを心に留めて明日は前進できるように頑張る

生徒 感想

卒業式実行委員会に入ったのは友達に誘われて「受験も終わったしちょっとやってみるか」というほんの気まぐれでした。そこでチーフになり、自分には荷が重すぎると思いました。しかし、3年生のみんなが支えてくれて、ついてきてくれて本当にありがたかったです。

委員会のみんなは去年と比べ多くの規制があるにも関わらず、卒業式を最高の式にしようとして朝から晩まで活動していました。その姿を見て本気でやらなければならないと思えました。みんなと関わる中で知らなかった個性を知ることができ

後期の係決め。いろいろ悩んだけれどやっぱり卒業式実行委員がいい、そう思い立候補しました。

当日までに私たちは納得がいくまで何度も何度も話し合いを重ねました。話し合いの中で、卒業式はどうしても悲しい切ない雰囲気になりがちなのでそれを少しでも楽しい気分にしたという思いが強まり、今年のテーマを「エール」にしました。部活やクラスを1つずつ回って許可取りをし、エール動画の撮影をしました。昨年の経験も生かして早めにスケジュールを組んだためスムーズに振り終えることができました。

そして今回は「花吹雪」にも挑戦しました。どんな素材で作ればいいのか、どのくらいの大きさなら綺麗に散るのか、量やタイミング、飛ばし方といった詳細な部分にまでこだわって何度も実験を重ねました。退場する時に3年生に気付いてもらえるように、光の加減で何色の紙を混ぜればいいのか、2階の放送室から散らす時に手や機械が見えないようにするためにどうすればいいのかなどたくさん工夫をしました。花吹雪は部活やクラスで撮ったエール動画よりも大変だったかもしれません。作るのもそうですが、片付けが本当に大変でした。それなのにそこまでやり

目立つことを何よりも嫌っていた私は、実行委員には向いていないしやりたくなかった。でも、チームでの話し合いを重ねていく中で、楽しくなっていた自分がいた。その気持ちに気付いてからは、自分から意見を出したり、積極的に関わったりするようになった。

途中、失敗をしてしまっ、チームの先輩や先生に迷惑をかけることがあった。映像制作の為の撮影でも、納得のいく撮影をすることができなかったので落ち込んでいた。あの映像が当日流れるの? 本当にこれで良かったのか大変不安だった。

卒業式当日、私は放送部員の一人として会場にいた。犬走りから体育館全体を見ることができたので、卒業生の皆さんの様子をずっと見ることができた。第二部合唱構成詩が順調に進んでいって、ついに、私たちの作った映像が流れるとき

父母 お礼の言葉

梅がほころび、春の花が咲き、寒さの中でも春を感じられるようになってきました。コロナ禍の中、素晴らしい卒業式を挙行していただき、校長先生をはじめ教職員の皆様には心から感謝いたします。

先生方にはこの3年間、勉強・部活と様々な面で熱心にご指導いただき感謝いたしております。最後の締めくくりとなる3年生の1年間は、コロナ禍のため上山研修(じょうざんけんしゅう)・体育大会・文化祭などの行事が中止になり、思いっきり力を発揮する機会が少なかったことが残念で仕方ありません。2年生の12月に沖縄に修学旅行に行ってきた皆さんの思い出ができたことは、本当にうれしく思います。

親子はもちろんですが、先生方も悔しい想いがあったり、いろいろな工夫を試みられたりしたことと感じております。進学・就職に関しましては面談などでお話を

しました。指揮能力に優れている人、動画作成が上手な人、尊敬する人ばかりで自分の世界はまだ狭いことに気付かされました。

合唱が新型コロナウイルスの影響で手話になり、練習時間もともに取れず、卒業式前日の練習はグダグダで明日の卒業式はダメだと思っていました。しかし、当日の式直前の練習では、手話が上達して、練習をしてくれたのかなと思ひ、とても嬉しかったです。

卒業式を通して多くの気付きと経験、友達を得ることができました。高校生最後の思い出として最高に心に残る最高の卒業式になりました。皆さんの支えがあったからこそ卒業式でした。ありがとうございました。

301 羽織 祐月(名古屋市長良中学校出身)

たかったのは3年生にとっては最初で最後の卒業式であり、文化祭や体育大会などの行事がなかった分、最後の卒業式だけでも印象に残ってほしかったからです。

結果は大成功。練習の時よりも綺麗に飛び、まさに理想通りでした。何よりも嬉しかったのは花吹雪が散っているのに気づいた3年生が花びらを捕まえようとしてくれたことです。それだけ興味を引くものであったということが分かり、嬉しくて仕方ありませんでした。

式のあと、友達だけでなく今まであまり関わりがなかった先輩や後輩などたくさんの人から声をかけてもらいました。何よりお世話になった先輩から「ありがとう。」「花吹雪すごかったね。」と言われ、ここまで頑張ってきた本当に良かったと心から思いました。

2年間卒業に関わって自分を変えることもできました。

今までは同時に2つのことをできなかったのが、動画と花吹雪という2つの企画を作るうちに日常生活においても次にすべきことを考えながら行動できるようになりました。残り1年の高校生活も先を見通しながら悔いのないように過ごしていきたいです。

211 吉田 仁朝(名古屋市長良中学校出身)

が来た。私は内心焦っていた。編集は2年生の先輩が仕上げてくださいだったので完成したものを見ていなくて、卒業生がどんな反応をしているのか心配でしかなかった。

勇気を出して卒業生の姿を見たとき、泣いている先輩の姿が目に入った。私はその先輩の様子を見て涙が出た。私が今までしてきたことは無駄じゃなかったんだと思った。失敗してしまったことの後悔が吹き飛ばすくらい嬉しかった。

何ごともやってみないとわからない。そう思えた卒業式だった。来年も何かの実行委員をやってみようか。そう思わせてくれた、私にとって最高の卒業式になった。

102 岡田 志乃(名古屋市長良中学校出身)

何うにつけ、一人ひとりに対して細やかな配慮を感じました。このコロナ禍にもかかわらずそれぞれの道が決定し、進んでいけるのは先生方のご尽力のおかげで、感謝の気持ちでいっぱいです。4月からは成人の年齢が引き下げられ、皆さんも成人となります。そんな時、この同朋高校で学び考え経験したことを思い出し、自分で選んだ道をしっかりと歩いてほしいと願っております。

皆様には今後とも子どもたちを見守ってくださいませよう、よろしく御願申し上げます。同朋高校のさらなるご発展をお祈りし、御礼のあいさつとさせていただきます。本日は本当にありがとうございました。

令和4年2月19日
保護者代表 後藤 恵美



各種表彰者

- ★愛知県知事賞 301 奥村 渡 (名古屋市長良中学校出身)
- ★名古屋市長賞 304 今井 啓介 (名古屋市長明中学校出身)
- ★日私中高連会長賞 312 高田 花帆 (北名古屋市長西春中学校出身)
- ★愛知県私学協会会長賞 304 富島 富美 (大治町立大治中学校出身)
- ★産業教育振興中央会賞 310 清水 はる (大治町立大治中学校出身)
- ★愛知県産業教育振興会賞 311 坂田 真由 (大治町立大治中学校出身)
- ★全商協会理事長賞 311 鈴木 健悟 (名古屋市長港北中学校出身)

- ★愛知県商業教育振興会賞 310 早川 昂輝 (あま市立基目寺南中学校出身)
- ★私学協会優良生徒 309 榎原 未羽 (名古屋市長立上中学校出身)
- ★高校生新聞社賞 乗馬部(4人)
- 301 渡邊 大輝 (名古屋市長八幡中学校出身)
- 306 西 悠太 (北名古屋市長立師中中学校出身)
- 308 加藤 みなな (津島市長立神守中学校出身)
- 309 廣田 有咲 (名古屋市長良中学校出身)

卒業演奏会

感謝の歌

「最後の音、もっとうまく出せたはずなのに。」舞台の上で歌い切った瞬間、私の心に浮かんだのはこの言葉でした。

私は、卒業演奏会に出演するまでの3年間、たくさんの人に支えられてきました。いつも熱いご指導をいただき、悩んでいるときには優しく導いてくださった先生方、どんな時でも励まし、応援してくれた友人や後輩、家族など、感謝もしきれません。言葉では伝えられないこの想いを歌に込めようと決め、あの日は会場へ向かいました。

リハーサルが始まってから本番までは長いようで一瞬でした。本番中、演奏している時のみんなは本当にかっこよく、待っている間「私がかっこいい全員の演奏を最後で台無しにしてしまったらどうしよう」という思いが頭の中にずっとありました。

しかし、舞台袖の扉が開き客席が見え、伴奏が始まったらそんな気持ちは消えました。舞台上で、大好きな人たちに向けて歌うことがあまりにも楽しかったからです。今までの感謝の想いも、3年間で成長した姿も全部届けることができたと感じます。だからこそ、

冒頭の言葉が最初に思い浮かびました。もっともっと良いところを見てもらいたかった、ずっと歌っていたかった、そう思いました。

いつかまた皆さんの前で歌う時には、より成長した私を見てもらえるよう、これからも頑張ります。

3年12組 後藤 優子(名古屋市立豊正中学校出身)



Club&Award News

生徒の活躍(2022年3月22日現在)

柔道部

令和3年度愛知県高等学校新人大会
柔道競技 女子団体3位

女子蹴球部

2021年度愛知県高等学校
女子サッカーリーグ1部 第3位
公益財団法人 愛知県サッカー協会

2021年度愛知県高等学校

女子サッカーXFリーグ1部
優秀選手賞 山口 真由(214)

吹奏楽部 定期演奏会

私は3年間吹奏楽部に所属して3年間でたくさんの思い出を作ることができました。

1つは1年生の時のコンクールでの経験です。入部したての時は毎日部活があったので、体力的にも精神的にも辛かったですが、コンクールが近づいてくるにつれてみんなの気持ちがひとつになってる気がして、練習するのが楽しかったです。本番では、今までの練習の成果を出し切ることができ、達成感を感じることができました。来年のコンクールがすごく楽しみにになりました。しかし、2年生のコンクールは新型コロナウイルスの影響で中止となってしまい、悔しい思いをしました。来年こそは絶対に出たいという思いから、たくさん練習をしてコロナ禍ではありますが最後のコンクールに出場することができました。私は人の前に立つ仕事が苦手ですが、部長を任せてもらい自分なりに一生懸命部活をまとめました。今までは先輩たちに言われたことをただやっているだけですが、3年生になり、自分たちで定期演奏会の計画をたてているうちに先輩方大変さを痛感しました。練習時間もまともにとれず、少ない時間の中で曲を完成させました。

また、私たちにとって1番思い出に残る定期演奏会を開催することができてよかったです。

3年部長 西川 愛菜



自主活動日

1年生

気持ち良い晴天の下、人工芝グラウンドで自主活動日を行いました。

今回の目標は「1年最後の自主活動日として最後のクラスの輪を実感しよう」としました。今回、行った競技は、単語集めゲーム・大玉リレー・台風さいころリレー・大縄跳びの4競技です。単語集めゲーム・大縄跳びは全員参加型でクラスの輪を作る、そして大玉リレー・台風さいころリレーは名簿順に画一的に並べることで、「誰とでもつながる」という価値観で競技を用意しました。

このような状況下で無事決行することができてとても嬉しく思います。

そして何よりも生徒たちが、コロナ禍での自主活動日を、最大限楽しんで、多くの笑顔があふれていたことに感謝しています。

また、クラ連以外の生徒も自主的に片づけを手伝ったり、司会進行の援助をしてくれました。そんな姿を見て、1年生クラ連の目標である、「クラ連という存在が、その枠を超え、クラス、そして学年全体が盛り上がっていく」を体現していたように感じます。

生徒の成長と喜び、そして一体感が感じられる良い機会となったと思います。

1年生 自主活動日担当 鯉部 将大



2年生

私は、1年間クラ連に参加してきましたが、その中で印象深いのは3学期の自主活動日です。自主活動日には、体育大会のような種目を決めました。

最初、クラスの人たちに自主活動日の内容を話した時は顔に(めんどくさい)の文字が浮かんでいるように見えました。クラスで競技決める時も、どうしても仲のいい子同士でくめない時もありました。どうなるのだろうと不安にもなりましたが、それは杞憂でした。クラスの人たちがみんなで写真を撮ったり、友達が競技に参加している時は応援したり、勝ったときは喜んだり。運営に至らない点はあったかもしれませんが、実際に競技している時の楽しそうな笑顔を見たときは嬉しかったです。

213 大竹 雅夕

クラ連を通して普段関わったことのない子たちとひとつの行事を作り上げたり盛り上げたりしてきて、1番良かったと思ったことは、やっぱりみんなの笑顔を見たことです。みんなのキラキラした笑顔や楽しかったという言葉で、とてもやりがいを感じました。また、人を動かすことの難しさも知ることができました。クラ連をやってなかったら感じられないことを経験できて良かったです。

青春は一瞬です。たくさんの人に高校生活での思い出を大人になっても楽しかったなと思えるような日々を過ごしてほしいです。

207 亀山 すみれ



卒業生の合格体験記

合格 名城大学法学部

私は高校受験に失敗し、第1希望の高校には行けず、同朋高校に入学しました。入学してからは、大学受験のためにテストでよい点数をとり、評定平均4以上に保つことを決めていました。土曜特別授業にも参加し、その2年間で勉強することを習慣付け、英語と数学の勉強を頑張りました。

3年生になると、周りも大学受験を意識しだし、受験に関する話を聞くようになりました。私は1年生の時からずっと行きたかった大学があり、公募制推薦で受験するつもりでした。しかし私の周りの友達は、ほとんどが指定校推薦で、公募制推薦で受ける友達はほとんどいませんでした。指定校推薦の一覧が発表された時、私は受験勉強が辛く、とりあえず大学に通えればいいかという気持ちで、行きたくない大学に応募することも考えました。そんな時、仲の良い友達や先生達が励ましてくれ、私の勉強の愚痴を沢山聞いたりしてくれました。そのおかげで、勉強を頑張ろうと

【普通科】大橋 愛美 (名古屋市立御田中学校出身)

いう気持ちになりました。そこから3ヵ月間、塾に通ったり、学校の先生に夜まで付きっきりで勉強を教えてもらったり、本気で勉強しました。周りの友達や先生に支えられて、私は第1志望の大学に合格することができました。

合格したことを伝えた時は、皆自分のことのように喜んでくれて、本当に勉強を頑張ってきたよかったと思いました。あの時指定校推薦を取らず、自分の行きたい大学を選んでよかったです。

私が大学受験で学んだことは、周りに流されず、自分の目標を決め、諦めずに頑張ることです。目標を達成できなくても、目標のために頑張った過程が大切だと思います。これから大学受験を受ける人達には、諦めずに自分の行きたい大学に行って欲しいです。私は大学でも悔いのないように頑張ります。

合格 愛知大学経営学部

私は、3年の夏に就職から進学へ大きく進路を変えました。進路を変えることはすごく大変で、ほかの子が2年次から時間をかけて準備してきたものを私は約2ヵ月でやらなければいけません。先生と相談しながら自分の学力で行けそうな大学を絞り、そこから学びたい学部学科を探しました。夏休みのほとんどを大学のオープンキャンパスに使い、大学と学部の雰囲気を見て、夏休みが明けるとは何とか第1志望から第4志望まで決めることができました。さまざまな受験方法から過去にとった資格を活かして、一般推薦よりも合格率が高い情報・簿記会計推薦で受けることに決めました。ある程度決まったあとは、受験に向けて必要書類の準備を始めましたが、私は志望理由書が

【商業科】清水 はる (大治町立大治中学校出身)

思っていたよりも進まず、何時間も机に向かって書いてはいろいろな先生方に添削してもらい、書き直しをしてまた添削という作業を10回以上繰り返しました。それと並行して受験科目である国語と英語、二学期中間テストの勉強もなくてはなりません。10月と11月はほぼ勉強漬けの日々で、心が折れそうになりましたが同じ大学を受ける友達と励まし合いながら中間テストも受験も何とかやきることができました。

両親をはじめ、忙しい中面接練習をしてくださった先生方の支えもあり、3年の夏から始まった私の慌ただしい受験は無事終わり、合格を貰うことができました。

合格 愛知県立芸術大学 音楽部器楽科管打楽器専攻

私は、高校に入学し、ほのぼのとした生活を送り、試験期間ギリギリになったら少し気合を入れるなど、あまり実技も勉強も真剣には取り組めていませんでした。進路も今思えば、国公立大学進学も考えていません。

2年生で国公立大学を目指すことと決め、ここから毎日練習の生活がはじまりました。練習はとてつらく、コンクールでも思うような結果が出ず、コロナなどで延期もあり、あっという間に1年間が過ぎていきました。3年生になるとスイッチが入り、受験に向けてやる気を出すようになってきました。レッスンの中では実技の先生にとて厳しく指導され、いっぱい泣いてしまいましたが、それでも諦めずに練習を続けました。共通テストや、副科ピアノなどの試験もはいる

【音楽科】尻井 ころ (春日井市立石尾台中学校出身)

ので両立するのがとても大変です。しかも受験は後期試験のため3月にあり、卒業してから頑張らなければいけないことや、友達が遊んでいるのを見て羨ましく感じましたが、仲のよい友人や家族の応援、先生方の支えがとても励みになり最後まで頑張りが続きました。

結果としては、第1志望の国公立の大学に合格することができました。合格できたのは、周りからの応援や支えがあったからこそ実現できたと感じています。「頑張ってきた3年間地道に練習や努力をし続けたら叶ったよ!」と自分をほめてあげたいです。

大学での4年間も諦めずに努力し、自分の実力をもっと高めていきたいです。

2021年度 進学・就職合格状況(一部)

四年制大学

同朋大学
名古屋音楽大学
名古屋造形大学
愛知県立芸術大学
愛知大学
愛知学院大学
愛知工業大学
愛知淑徳大学
金城学院大学
至学館大学
修文大学
椋山女子学園大学
星城大学
大同大学
中京大学

中部大学
東海学園大学
名古屋外国語大学
名古屋学院大学
名古屋学芸大学
名古屋芸術大学
名古屋女子大学
日本福祉大学
名城大学
岐阜聖徳学園大学
静岡理工科大学
専修大学
拓殖大学
東京造形大学
京都芸術大学
京都精華大学
龍谷大学

甲南大学
東京音楽大学
国立音楽大学
洗足学園音楽大学
など

短期大学

津市立三重短期大学
愛知医療学院短期大学
愛知学泉短期大学
名古屋経営短期大学
など

専門学校

愛北看護専門学校
えきさい看護専門学校
中部看護専門学校

中部リハビリテーション専門学校
中部労災看護専門学校
まつかけ看護専門学校
など

就職

愛知県警
海上保安庁
一宮消防局
航空自衛隊
日本通運
トヨタ自動車
三ツ矢製菓
キングコーポレーション
リンナイ
クラシエホームプロダクツ
など

検定結果感想文

高校に入って検定というものに初めて触れました。簿記を始めとした商業科目を学び始めた頃はつまずくところばかりで、こんな調子で検定合格できるのだろうかという不安がありました。一気にたくさん覚えるのは苦手なので、毎日少しずつ復習してできることを増やしていきました。勉強した分だけ自分の力になったので自信に繋がりました。

時には3週連続で検定があり、テスト期間と大変な時期がありましたが、無事に1年生の検定が全て終わりました。2年生、3年生と学年が上がるたびに検定の難易度も上がっていきました。文書処理と情報処理の1級は2年生までは授業で教えてもらい検定に望んでいましたが、3年生では自分自身で時間を作り勉強をしなくてはならず、特に私はタイピングを苦手としていて、文書処理検定の速度に合格できるか不安でした。2級ではギリギリ時間内に打ち切り合格しましたが、1級は何度繰り返しても時間内に打ち切ることができませんでした。検定当日が近づくにつれ今まで以上の焦りを感じていたのを覚えています。落ちたらどうしよう、とそればかり考えてしまっただけで余計に不安でいっぱいになりました。それでも諦めてしまえばやれるだけやろうと何とか気を持ち直し、タイピング練習を続けました。結局前日まで1度も打ち切れたことはありませんでしたが、本番で初めて打ち切ることができ、

さらに見直す時間まで作れました。無事に合格し、ほかの検定も落ちることなく5冠をとることができました。最初から諦めてしまうことは簡単です。ですが、やれる範囲でも努力をすることで必ずよい結果に繋がります。よい結果が自信になり、もっと努力する。そのプラスの循環が自分にとって大切なものだと思えてきました。

310 清水 はる (大治町立大治中学校出身)



検定試験合格表彰

全国商業高等学校協会主催検定試験五種目1級合格生徒

- 310 清水 はる (大治町立大治中学校出身)
- 311 鈴木 健悟 (名古屋市立港北中学校出身)
- 311 坂田 真由 (大治町立大治中学校出身)
- 311 林 優菜 (大治町立大治中学校出身)

全国商業高等学校協会主催検定試験四種目1級合格生徒

- 311 塚本 篤人 (名古屋市立あづま中学校出身)

全国商業高等学校協会主催検定試験三種目1級合格生徒

- 310 花山 武明 (津島市立神守中学校出身)
- 310 早川 昂輝 (あま市立甚目寺南中学校)
- 310 鷲野 昌人 (名古屋市立山田東中学校出身)
- 310 池戸 友菜 (北名古屋市立熊野中学校出身)
- 310 貝沼 瞳 (名古屋市立供米田中学校出身)
- 310 藤井 美有 (あま市立七宝中学校出身)
- 310 山田 紗矢音 (扶桑町立扶桑中学校出身)
- 311 加藤 明日香 (愛西市立永和中学校出身)
- 311 篠原 はるか (名古屋市立豊正中学校出身)
- 311 古橋 莉緒 (名古屋市立御田中学校出身)